

東・中・西日本高速道路(株) 構造物施工管理要領 鉄筋防錆材 適合品

日本建築学会 鉄筋コンクリート補修用防せい材の品質基準(案) 適合品

亜硝酸リチウム含有ポリマーセメント系鉄筋防錆材

# リペアペースト

## 鉄筋 防錆材

リペアペーストは中性化や塩害によって腐食した鉄筋の防錆材です。  
亜硝酸リチウムを混和したSBRラテックス系混和液とセメントパウダーとを混練りするだけで  
高い防錆性を有するポリマーセメント系鉄筋防錆ペーストとして使用できます。  
リペアペーストはリペアミックス(断面修復材)シリーズと併せてお使いください。



### 特長

- 1 防錆性** 鉄筋表面に強固な不動態被膜を形成
- 2 耐久性** 密実な塗膜を形成して腐食因子の浸入を抑制
- 3 接着性** 鉄筋との長期的な一体性
- 4 利便性** 経済的な小分けセットで計量不要

### 標準配合・使用量

荷姿	標準配合	標準使用量	施工可能面積
16kg/ケース 内訳:パウダー(3kg)×4袋 混和液(1kg)×4ポリ缶	パウダー 1袋 混和液 1缶	1.0kg/m <sup>2</sup> (0.5mm厚)	16.0m <sup>2</sup> / ケース

### 基本物性

項目		試験結果	試験方法
簡易フロー値	0分	180 mm	JASS15M-103
	30分	178 mm	
圧縮強度	1日	9.0 N/mm <sup>2</sup>	JIS A 1171
	7日	24.0 N/mm <sup>2</sup>	
	28日	30.3 N/mm <sup>2</sup>	
曲げ強度	28日	9.5 N/mm <sup>2</sup>	JIS A 1171
接着強度	28日	2.3 N/mm <sup>2</sup>	建研式

※上記は試験結果の一例で保証値ではありません。

### 防錆性

項目		試験結果	基準値*
防錆率	補修部	85 %	50%以上
	基材部	27 %	-10%以上
鉄筋に対する付着強さ		11.3 N/mm <sup>2</sup>	7.8 N/mm <sup>2</sup> 以上
耐アルカリ性		塗膜に異常を認めない	異常が認められないこと

※日本建築学会「鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断及び補修指針(案)付1.3鉄筋コンクリート補修用防せい材の品質基準(案)」による。



# ■ 施工方法

1

## 下地の清掃

施工面の浮き部、ひび割れ部、鉄筋露出部やその周辺の脆弱部をはつき取り、露出鉄筋の錆やはつき面の塵埃、レイタンス等をサンダーやワイヤブラシ、高圧水洗浄で除去してください。

2

## 材料の混練り

- ①はじめに混練用容器（パール缶など）を用意し、標準配合に準拠した量のリペアペースト混和液を投入してください。
- ②高速ハンドミキサーで攪拌しながらリペアペーストパウダーを少しずつ加え、ダマ・まま粉ができないように3分間丁寧に練り上げてください。
- ③材料の可使用時間は、夏季で30分、冬季で60分程度を目安として、その時間内に使い切れる量を混練してください。

3

## 塗り付け作業

- ①下地施工面や使用する刷毛等を適度に水湿して、湿潤状態にしてから塗り付けを行ってください。
- ②下地に良くなじむように材料を十分にこすり付けてください。特に、露出鉄筋に塗布する場合、鉄筋背面に塗り残しが生じないように丁寧に塗り付けてください。
- ③可使用時間内に材料がこぼってきた場合は、少量の水で練り返して使用してください。
- ④施工後は、直射日光などによる急激な乾燥を避けるよう注意してください。また、厳寒期には凍結対策として防寒養生・保温養生を行ってください。



※続けて断面修復する場合は、リペアペーストの指触硬化を確認してから行ってください。

無収縮グラウト材	断面修復材	超速硬モルタル/コンクリート
<p>セメント系 無収縮グラウト材 グラウトミックス</p>	<p>セメント系 無収縮グラウト材[低熱タイプ] グラウトミックスL</p>	<p>断面修復用 ポリマーセメントモルタル リペアミックス</p>
	<p>断面修復用 ポリマーセメントモルタル リペアミックス Pro</p>	<p>セメント系 断面修復材 リペアミックスJ1</p>
		<p>超速硬 プレミックスコンクリート リペアミックスNEXT</p>
		<p>超速硬 高靱性モルタル オートモルスーパー</p>

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。

	<h3>警告</h3>	<p>飲み込むと有害。水生生物に毒性。重篤な皮膚の薬障。重篤な目の損傷。発がんのおそれ。 吸引した場合、臓器(呼吸器系)の障害。長期または反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害。</p>
<p><b>【安全対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱い後は手、顔をよく洗うこと。</li> <li>・個人用保護具を着用すること。</li> <li>・粉塵を吸引しないこと。</li> </ul>		<p><b>【応急措置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吸引した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</li> <li>・皮膚に付着した場合、流水またはシャワーで洗うこと。</li> <li>・目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。</li> <li>・飲み込んだ場合、すぐに口をすすぐこと。</li> <li>・暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断 / 手当てを受けること。</li> </ul>
<p><b>【保管】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部外者が触れないような措置をし、保管すること。</li> </ul>		
<p><b>【廃棄】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。</li> </ul>		
<p>本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。</p>		

<p><b>⚠ 注意事項</b></p> <p><b>【使用上の注意】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工すること。</li> <li>・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。</li> <li>・本製品はセメント製品につき湿気厳禁。雨露や直射日光を防止、Jレット等を敷き床面から離し、通気の良い場所で保管し、製造後6ヶ月までを目安に使用すること。</li> </ul>	<p><b>【カタログに関する注意事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。</li> <li>・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。</li> <li>・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。</li> <li>・本カタログは2017年4月に作成しました。</li> </ul>
--	--

株式会社 **トクヤマ エムテック**

URL <http://www.k-tokuyama.co.jp>

ISO 9001

JTCCM  
OSCA  
FO 1987

(登録範囲) <http://www.jtccm.or.jp/>

MS  
JAB  
CM015

<b>本社・東日本事業部</b>	103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-2-5 ERVIC人形町6F TEL 03-5643-3601 FAX 03-3249-3615
<b>中日本事業部</b>	573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3 TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125
<b>西日本事業部</b>	745-8648 山口県周南市御影町1-1(株)トクヤマセメント開発グループ2F TEL 0834-62-7201 FAX 0834-62-7202
<b>九州営業所</b>	812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2 TEL 092-642-9070 FAX 0834-62-7202
<b>首都圏セメント建材開発センター</b>	299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10 TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点(株)熊本硅砂鉱業(熊本)

販売店